

研修医通信

Vol.27 H.24/09/28 発行



1ヶ月という短い期間でしたが、本当にお世話になりました。最初は患者さんの言葉もわからずどうしようかと思いましたが、最後の方は自分から方言で話すようにまでなっていました。笑 紀南病院及びその周辺の施設で研修させて頂いて、地域医療について自分なりに思うところもありましたし、純粹に医療従事者としてもレベルアップできたように思います。

院外でも、ダイビング・稲刈り・熊野古道・松坂牛・寿司・熊野牛・熊野地鶏と楽しくそして美味しく過ごさせてもらいました。ダイビングはここにきて始めたのですが、はまっていきそうです。

ダイビングばかりしてどんどん黒くなっていった僕ですが、この病院で研修させて頂いて非常にありがたく思っています。重ねてになりますが、本当にお世話になりました。

東大病院研修医 前田明倫

1ヶ月という短い期間でしたが、本当にありがとうございました。紀南病院では先生方があらゆる疾患を初期対応から退院後の対応までされていて、何でもできるという印象を強く受けました。また、診療所訪問、訪問看護、ミニタウンミーティングなど病院外での活動で、地域の人達とお話しする機会も多く、沢山の刺激を受けましたし、紀南病院がこの地域に根付いているという事を実感しました。熊野の花火、飲み会など病院外のイベントにもたくさん参加させて頂いて本当に充実した日々を過ごせたと思います。また四日市に戻るのが寂しい気もしますが、ここでの経験を活かせるようにこれから頑張っていきたいと思います。

市立四日市病院研修医 大石英生

紀南病院での研修中、これまでよりも患者さんの背景に目が向く機会が多かったように思います。自宅から入院し高齢者住宅に退院された患者さんが入院中毎日「家に帰りたい」と言っていたのが印象に残っています。でも、ご家族や地域の人たちの援助を受けられることができるのは幸せなことでもあると感じていらっしやったようです。

今回の研修で出会った多くの医療従事者の方々もそうやって地域の人たちを支えていて、その積み重ねでこの地域の医療は成り立っているのだろうと感じました。

この2ヶ月でたくさんの方のあたたかさに触れました。慣れない環境でも不自由なく過ごせたのは多くの方の支えあってのことだと本当に感謝しています。自分自身もそういう人間になれるよう、一層頑張っていこうと思います。短い期間ではありましたが、本当にありがとうございました。

三重大病院研修医 樋口智仁

